

令和3年5月31日発行

かんのん町保育園



けんこう がっこう 健康だより 6月号



5月の感染症情報

水痘 1名
アデノウイルス 1名

梅雨の季節がやってきます。この時期は、急に暑くなる日があったり、肌寒い日があったりと体調を崩しがちです。衣服の調節にはいつも以上に気を配るようにしましょう。雨で滑りやすく、けがも増える時期ですので十分に注意して過ごしましょう。

歯科健診について

6月24日(木)に全園児行います。

時間:0歳児から9:30開始

- 年に1回の歯科健診があります。園医の小林歯科医院、小林隆志先生が診察します。

※万が一、欠席し歯科健診を受けることができなかった

場合、保護者の方に小林歯科へお子さんを連れて行っていただき受診をお願いさせていただきますのでご理解の程よろしくお願い致します。

歯科健診では次の項目を調べます。

- ①歯並び・かみ合わせ・あごの関節に異常はないか。
 - ②虫歯はないか。
 - ③歯垢が付いていないか。
 - ④歯肉が腫れていないか。
- 結果は当日レターケースに配布します。

当日もですが..

毎朝、歯みがきをしっかりと登園しましょう!



6月4日は虫歯予防デー

自分できれいに歯を磨けるようになるのは、小学校4年生(およそ10歳)と言われています。5、6歳児は生活が自立してきて歯磨きも上手にできているように思えますが、磨き残しはあると考えておきましょう。

生え始めの大人の歯(永久歯)はもろく、虫歯になりやすいです。唾液によってだんだん強くなっていきます。大人の歯が生えてくる5、6歳児にはやはり仕上げ磨きは大切になります!



とびひ ※水遊びはできません。

アトピーやあせも、虫刺され、すり傷などを手で触ったり掻いたりすると、皮膚の表面に複数の細菌が付き繁殖し、皮膚がただれたり、水ぶくれや、かさぶたになったりします。患部を触った手で体の他の場所に触れると、感染がさらに広がります。

直接触れないようにガーゼで覆い、必ず早めに受診をして内服の抗生物質を処方してもらいましょう。

水イボ ※患部を覆う水着の着用が必要です。

特徴は丸くて光った小さなイボです。つぶすと白いかたまりが出てきます。この中にウイルスが含まれており、皮膚につくとうつります。治るのに時間がかかることが多いです。

☆水イボが出来た時は...必ず皮膚科受診をお願いします。水イボが化膿したり全身に広がったりしますので、かかりつけの医師の指示を受けて下さい。

紫外線に気を付けましょう!

子どもの皮膚は大人の半分ほどの薄さしかなく、紫外線の影響を受けやすいです。屋外で遊ぶ機会の多い子どもにこそ、しっかりとした紫外線対策を行いましょう。

保育園では首に日よけのついた帽子の着用、園庭にはシェードを使用して日陰を作るようにしています。

日焼け止めのポイント

- 日常生活ならSPF20程度で、紫外線吸収剤が入っていないもの。
- 外出の15分前に塗り、2~3時間おきに塗りなおす。
- 顔にはクリーム状ならパール粒大、液状なら1円玉大を2回塗る。
- 腕や足は外側と内側に直線状に塗り、らせん状に伸ばす。
- 入浴時によく泡立てた石鹸で洗う。



《当園の感染症情報について》

日々の感染症について、玄関前に掲示しているのでご確認ください。クラスについては、個人情報保護の観点から控えていますのでご了承ください。